

# 子育て環境の充実

小絹小学校敷地内に、小絹小児童クラブの建設を行います。

小絹小児童クラブはこれまで、近接するふれあいセンターにあり、移動時の子どもたちの安全が不安視されてきました。この整備により、この問題を解決するとともに、現在の児童クラブの定員を90人から、120人とし、定員を30人拡大いたします。この新しい児童クラブの開設は、平成25年度後半を予定しております。

また、ふれあいセンターから小絹小児童クラブが移転することに伴い、今までのふれあいセンターを児童館に改修いたします。

この改修により、つくばみらい市で初の児童館として、平成26年春の開館を予定しており、多くの子どもたちのふれあいの場として利用してまいります。

みらい平地区に、市民交流の拠点となるコミュニティセンターを平成26年秋の開館を目的に建設工事に着手いたします。このコミュニティセンターには、子育て支援施設として児童館や子育て支援室、教育環境の充実として図書館分館を併設いたします。

次に、子育て環境の充実に欠

かせないのが保育所を含めた幼児施設の整備であります。

市では、平成23年度にみらい平地区の市所有地に公募により民間保育園を誘致いたしました。その民間保育園が平成25年4月に開園いたしますので、市ではその運営に対し、財政的な支援を行ってまいります。

市では、人口増に伴う待機児童の解消が課題であります。そのため、みらい平地区周辺の土地所有者の協力のもと、民間の

# 教育環境の充実

まず、みらい平地区への小学校建設ですが、市民委員などからなる建設検討委員会から、基本設計についての答申をいただきましたので、平成25年度から工事に着手し、平成27年春の開校を目的に2カ年の継続事業として建設工事を進めてまいります。

平成23年度から小絹小学校、小絹中学校でモデル校として先行実施してきた小中一貫教育を、平成25年度からは市内の小・中学校で実施いたします。

これにより、市内の全校で小学校と中学校の連携を密にした、9年間を見通した教育を行ってまいります。

土地への幼児施設の誘致も行ってきたところであります。

その誘致活動の結果、平成26年4月に開園を目的にした民間の保育園の進出が決まりました。市といたしましては、人口増に伴う待機児童解消のため、市有地等に対しまして、さらなる民間の幼児施設の誘致を積極的に行ってまいります。

このような施策を通じ、子育て世代が「つくばみらい市に住んで良かった」と思っていただけけるまちづくりを進めてまいります。

また、市内全小学校10校に、IT非常勤講師を配置し、子どもたちの学力向上、きめ細やかな学習指導等を図ってまいります。

次に、中学校のICT教育を推進するため、市内中学校の授業用のパソコンをハイブリットタイプに更新し、これまでのパソコン教室での「パソコンの学習」から授業における「パソコンを使った学習」に教育内容を充実していきます。

さらに、学校図書館の充実を図るとともに、子どもたちの読書活動の推進を図るため、新たに市内の中学校区に対し、各1

人、計4人の学校図書館司書を配置いたします。

「みらい」を担う子どもたちの可能性や、個性を伸ばす教育環境の充実を図ってまいります。

## みらい君家（本市）の家計簿

つくばみらい市の25年度一般会計予算を、年収600万円（月収50万円）のみらい君の家庭に例えて、1カ月分の家計簿を作ってみました。  
【家族構成】父、母、みらい君（中学生）、兄（大学生「アパートで1人暮らし」）

家族で暮らしてお金など  
230.410円

生活費  
355.620円

【毎月の収入】		【毎月の支出】	
お父さんの給料（市税）	190,750円	食費（人件費）	88,770円
お母さんのパート収入（使 用料・手数料など）	25,080円	医療費（扶助費）	68,870円
貯金引き出し（繰入金）	14,580円	光熱費・被服費（物件費）	69,970円
実家などからの援助（地方 交付税・国庫支出金など）	194,170円	車や家具の修理代（維持補修 費・予備費）	2,030円
ローン借り入れ（市債）	75,420円	兄への仕送り（他会計への繰 出金・補助費・貸付金など）	125,980円
<b>収入合計</b>	<b>500,000円</b>	家の増改築（普通建設事業費）	103,730円
		ローン返済（公債費）	40,520円
		貯金（積立金）	130円
		<b>支出合計</b>	<b>500,000円</b>

収入

支出

※家計簿はより分かりやすくするために1カ月分で作成しましたが、一般会計と対比するためには、年間の収支での比較となります。